

# きらり川口ジュニア議会

8月25日、市立中学校、高等学校から選出された51人の議員が集い、通常の市議会さながらに、市長をはじめ市側理事者に市政の現状とさまざまな課題について質問しました。その後ジュニア議会の総意として「みんなでつくる川口の元気の決議」を全会一致で可決しました。



議場での記念撮影

- ジュニア議員（敬称略）**
- |        |       |       |       |       |       |       |       |        |        |       |       |       |       |       |       |        |       |       |       |        |       |       |       |       |       |  |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--|
| 藤原 楓   | 小原 希也 | 岡 千尋  | 飛鳥 萌江 | 平野 愛奈 | 武田 紗知 | 三木 苑楠 | 丸山 優希 | 岩瀬 尚信  | 小川 いぶき | 坂巻 美海 | 丸山 和也 | 残間 友子 | 亀田 友己 | 関 凌太  | 岡 伊吹  | 毛綿谷 龍星 | 蜂須 茂徳 | 齋藤 伴樹 | 伊藤 奈桃 | 福田 悠太郎 | 平林 沙雪 | 木村 鮎水 | 高橋 小麥 | 高良 菜乃 | 橋谷 成海 |  |
| 神原 麻奈美 | 宮下 倫慶 | 栗高 大輝 | 稲場 健将 | 佐藤 希海 | 保坂 瑠海 | 丸山 清架 | 上村 詩織 | 佐甲 かほ子 | 田中 満友里 | 結城 幸梨 | 尾形 陸椰 | 小林 海星 | 和田 一輝 | 本橋 七歌 | 小澤 千紗 | 多羅澤 龍人 | 青木 龍人 | 及川 美空 | 川村 夏帆 | 細田 頼依  | 山本 夏帆 | 長島 怡治 | 前田 和樹 | 齋藤 司  |       |  |

## 議員提出議案

### みんなでつくる川口の元気の決議

今年、戦後70年を迎える年、また、川口市が平和都市宣言をしてから30年目を迎える節目の年です。現在、私たちのまち川口には、約60万もの人が暮らしており、鋳物や植木をはじめとする、伝統や技術に培われた「川口ブランド」を数多く産み出すなどして、常に発展し続けてきました。

しかし、終戦直後の川口には、荒れ果てた土地しか残されておらず、蓄えられていた戦後需要品を十分に生かすことも難しかったと言われていました。それでも、我々の先人達は、<sup>いしずえ</sup> 労を惜みず、知恵をふりしぼり、市民皆で手を取り合っ、大都市への発展の「礎」を創りあげてきました。

そんな川口の「現在の姿」について、みなさんはどう感じていますか。深刻化した環境問題や疲弊した地域経済、少子高齢化や地域コミュニティの衰退など、発展と同時に、様々な課題も抱えるようになってしまいました。ご存知のとおり、これらは改善するのが難しい問題ばかりです。

しかし、我がまち「川口」の更なる発展、そして「元気なまち」にしていくためには、ここにいる我々の「チャレンジ」が必要なのではないのでしょうか。一人の力ではできないことも、皆で集まって、その数を増やしていけば、成功の可能性は高まるはず。長い間受け継がれてきた伝統や、地域コミュニティを大切にしつつ、川口の歴史の新たな1ページを、担い手である私たちが創っていきたくと思っています。

本日、ジュニア議会に参加させていただき、同じ中学生や高校生の意見を聞き、私たちの暮らすまち「川口」について、真剣に考えることができました。これから、未来の川口を創っていくのは、ここにいる私たちです。「元気なまちづくり」そして「元気な人づくり」の実現に向けて、皆で力を合わせ、活気溢れる川口市にすることを誓います。そして、我がまち「川口」が、今以上に魅力あふれるまちになるよう、みんなで「川口の元気」をつくっていくことを、ここに決議いたします。

平成27年8月25日  
きらり川口ジュニア議会

## 質問・答弁



**Q** 災害が起きた際の避難経路を、どのように周知していますか。

**A** 避難場所、避難道路などを記載した地震防

災ハザードマップを市内全ての家庭に配布しています。また、防災アプリの公開や広域避難場所への案内標識を各所に設置するなど、避難経路の周知を図っています。

**Q** 豊かな自然を保つためにどのような対策をしていますか。

**A** 市内に残る貴重な緑地に加え、一定の樹木や



生け垣を保全すべきものとして、緑の維持保全のための助成制度を設けています。また、開発により消失の恐れのある保全緑地に指定された斜面林を市が買い取る取り組みも進めています。

